

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大仙市立豊成小学校（秋田県）【指定校】

【取組内容】 学び方を学ぶための手立て

(1) 教科書の読み方を学ぶ

児童が教科書をもとにして、自ら学んでいけるようにするために、年度当初に教科書の活用例を知る時間を設定した。

児童には、「教科書って考えられているな。」「だからこの資料があるのか。」「この文とこの資料がつながっているね。」などの新しい気づきが生まれた。

デジタル教科書の画面を示しながら、→
社会科の教科書の活用例を確認。



(2) 児童が授業を見合う会の実施

上の学年の学習の様子を参観し、学び方を学ぶことを目的とした時間を設定した。1年→2年、2年→3年、3年→4年・・・

児童のみならず、教師側も、上の学年でどのような学びを行っているのかを理解し、発達の段階に合わせて学びを進めることの重要性を再認識するとともに、校内の研修体制の共通理解にも役立った。



4年算数「面積の求積」の学習では、3年生の児童はノートやPCにメモを取りながら参観。
中には、4年生の学習に興味をもち、自分なりの面積の求め方を考えている児童もいた。